

安芸高田市都市計画マスタープラン・立地適正化計画
策定に係る 市民アンケート調査結果

2022年3月25日

安芸高田市 企画振興部 政策企画課

1. 市民アンケート調査（調査概要）

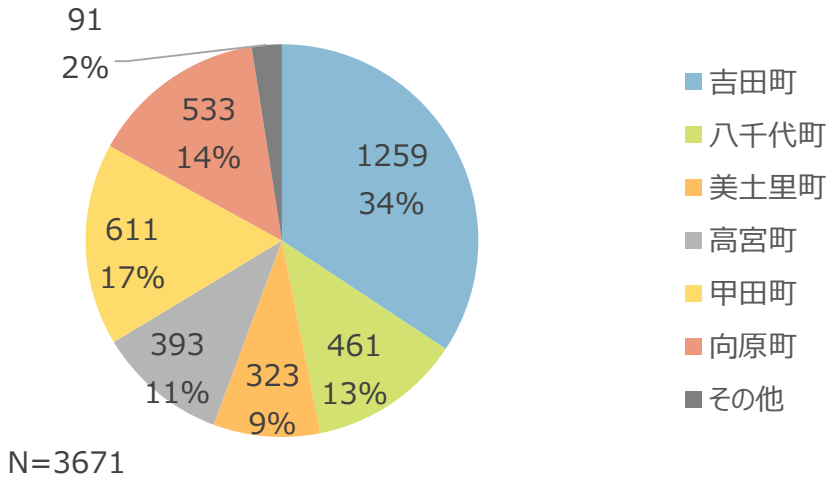
○都市計画マスタープラン・立地適正化計画の策定において、市民意向を十分に反映することを目的として、市内全世帯を対象とした市民アンケート調査を実施。

対象	安芸高田市内に居住する全世帯
実施期間	2021（令和3）年12月3日～12月20日
方法	紙面：市内全世帯に対して調査票を1部ずつ配布 web：調査票表紙にweb上でのアンケートフォームへのURLを掲載（世帯内で複数人回答可）
回収数	3,750票（3,709世帯）
内容	<ul style="list-style-type: none">■ 回答者の属性 居住地（郵便番号）、性別、年齢、職業、家族構成 運転免許証の有無、運転頻度、免許返納意思■ 日常生活について 目的別の外出先・移動手段、自宅周辺／拠点地区に欠かせないと考える施設の種類 新型コロナウイルスの感染拡大による行動変化■ お住まいについて 住居形態、住居および周辺の環境への満足度 望ましい居住環境の条件、今後の現住居への居住継続意思■ これからのまちづくりについて 日常生活において影響が生じると困ること、コンパクトなまちづくりを進める上で重視すべき点 まちづくりへの参加意欲、進めるべきと考えるまちづくり方針■ 自由意見

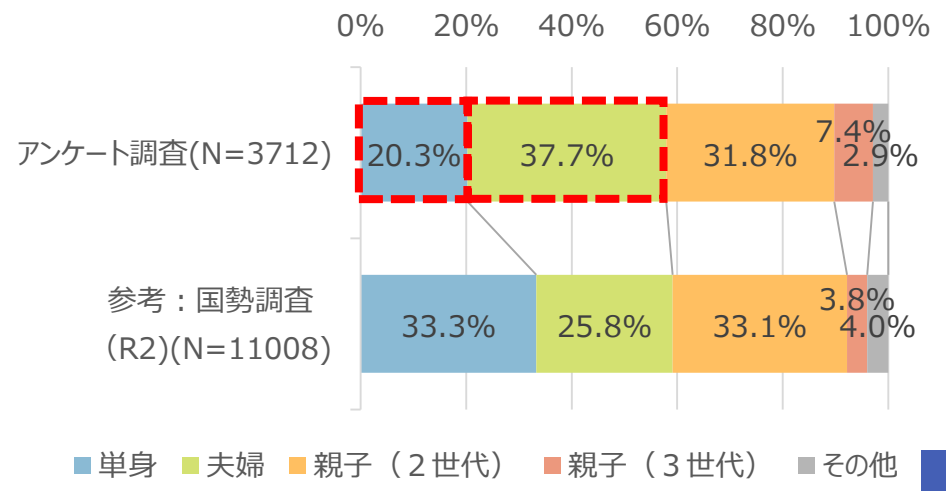
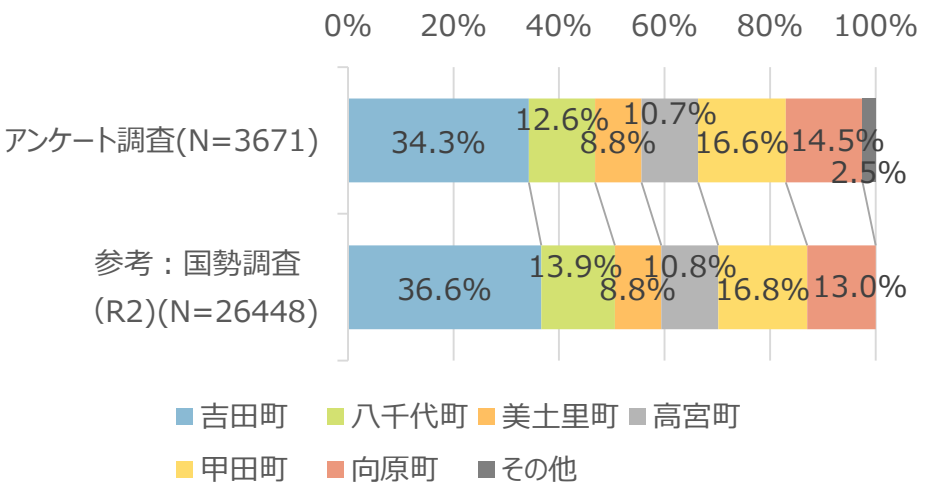
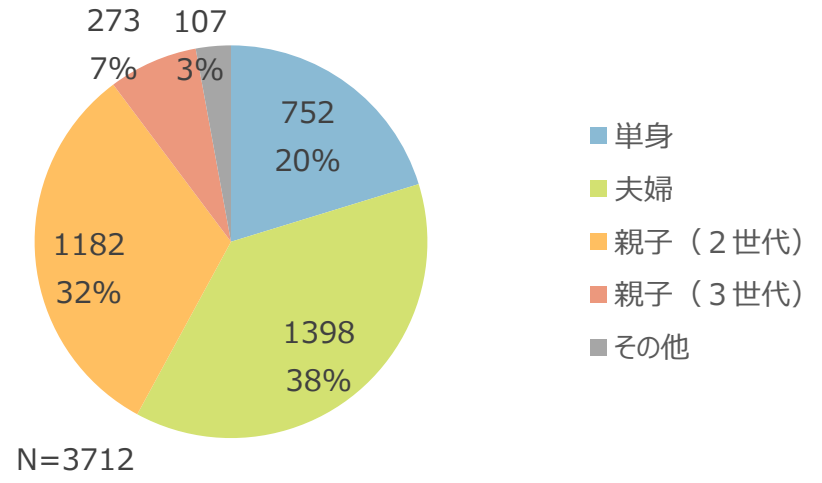
2. 市民アンケート調査（調査結果①：回答者の属性）

○回答者の属性について、居住地は市全体の人口分布と概ね同様の傾向にある。
 ○一方、家族（世帯）構成については、単身者の割合が実際より低く、夫婦の割合が高い。

【居住地】



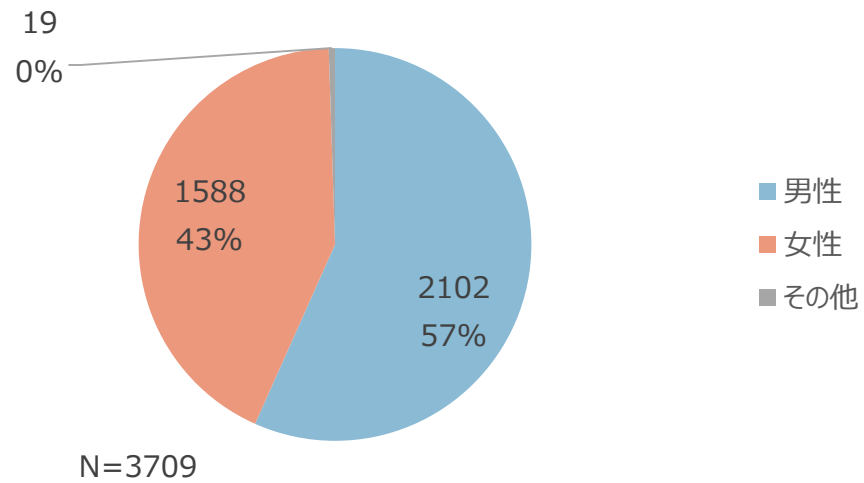
【家族（世帯）構成】



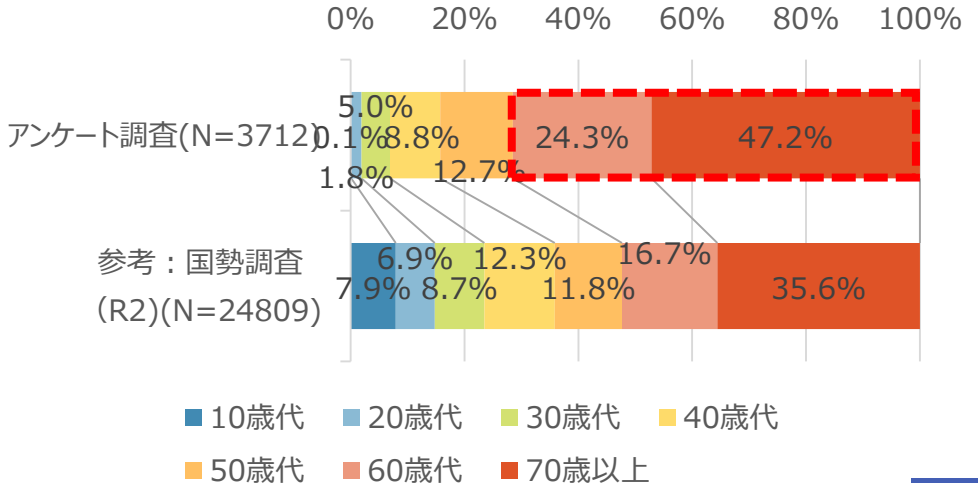
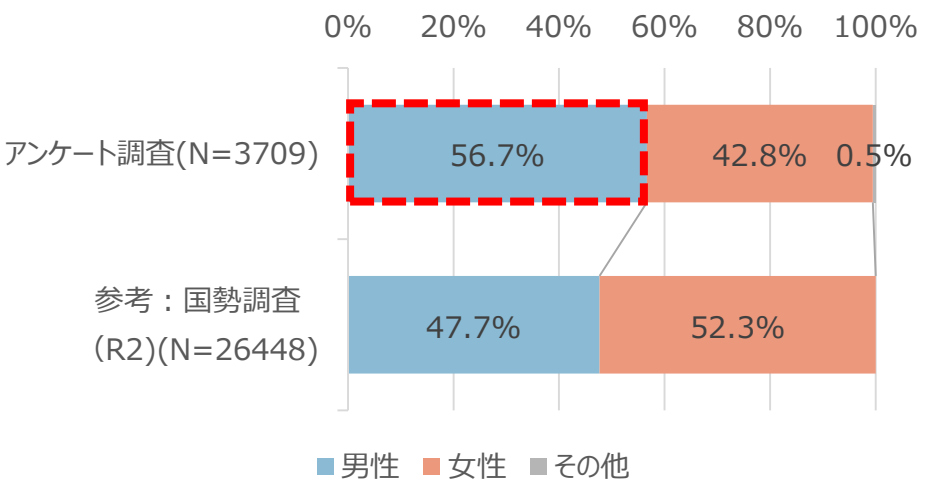
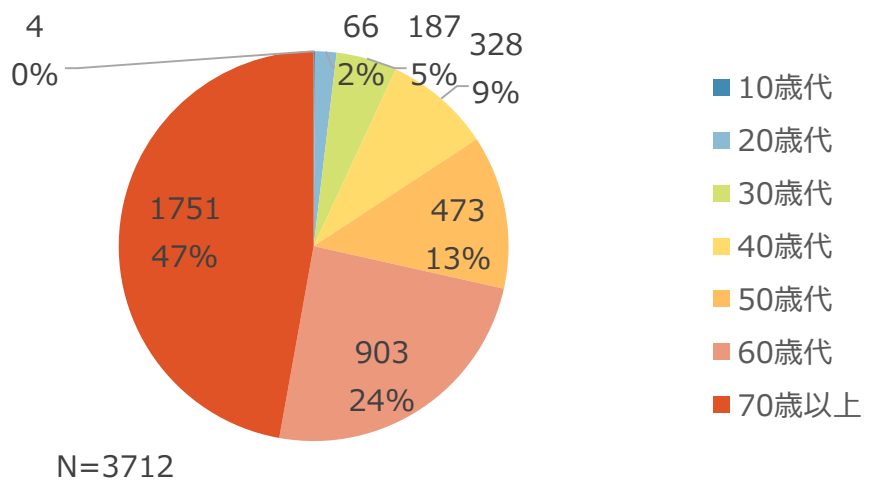
2. 市民アンケート調査（調査結果①：回答者の属性）

○また、市全体の人口比に対して男性の回答率が約10ポイント高いほか、29歳以下の回答率が低く60歳以上の回答率が高いなど、一部実際の人口構成と異なる部分がある。

【性別】



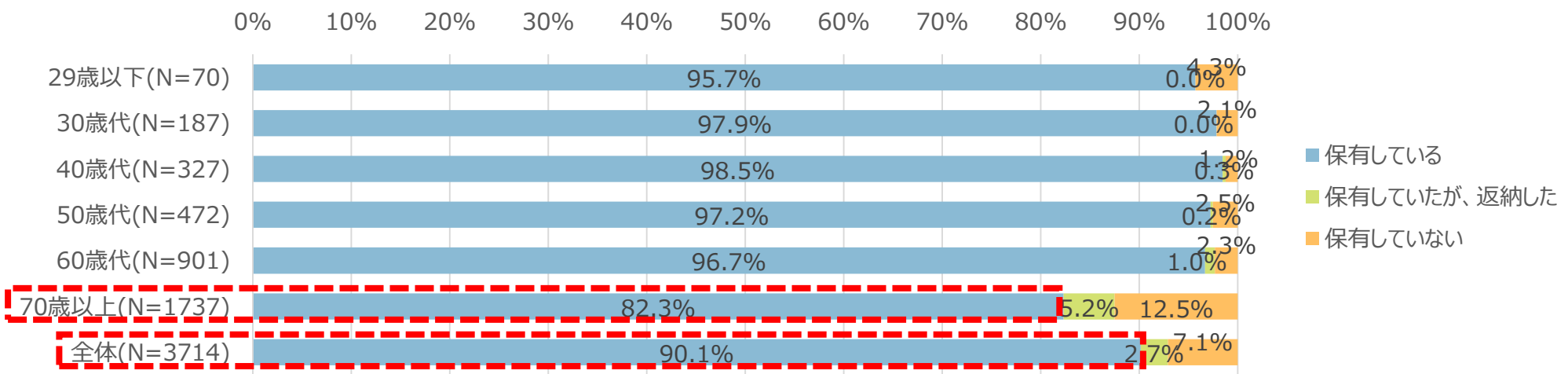
【年齢】



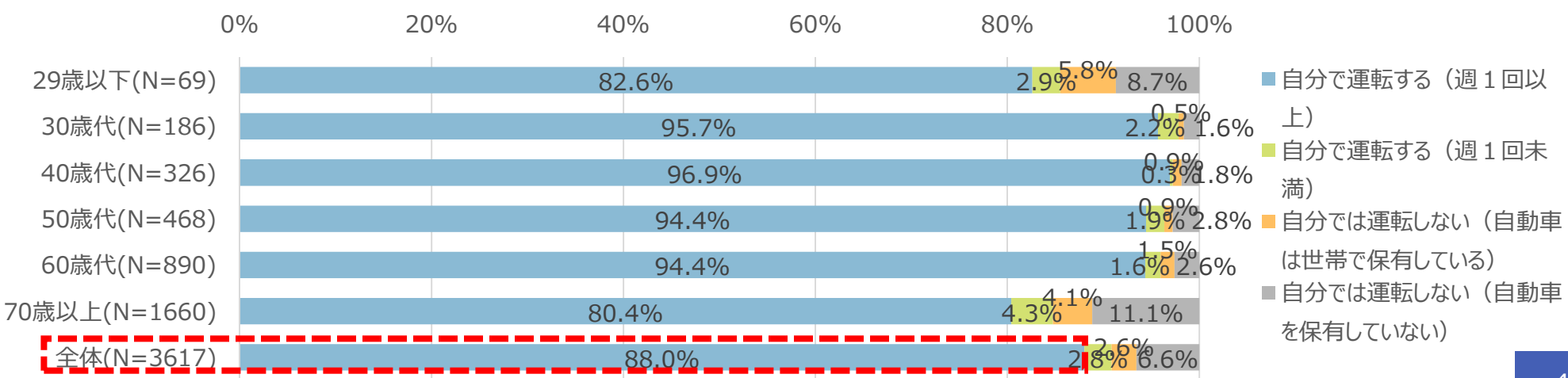
2. 市民アンケート調査（調査結果①：回答者の属性）

○回答者の約9割が運転免許を保有しており、週に1回以上自分で運転している。
 ○特に、70歳以上であっても、8割以上が運転免許を保有しており、週に1回以上自分で運転している。

【運転免許の保有有無】



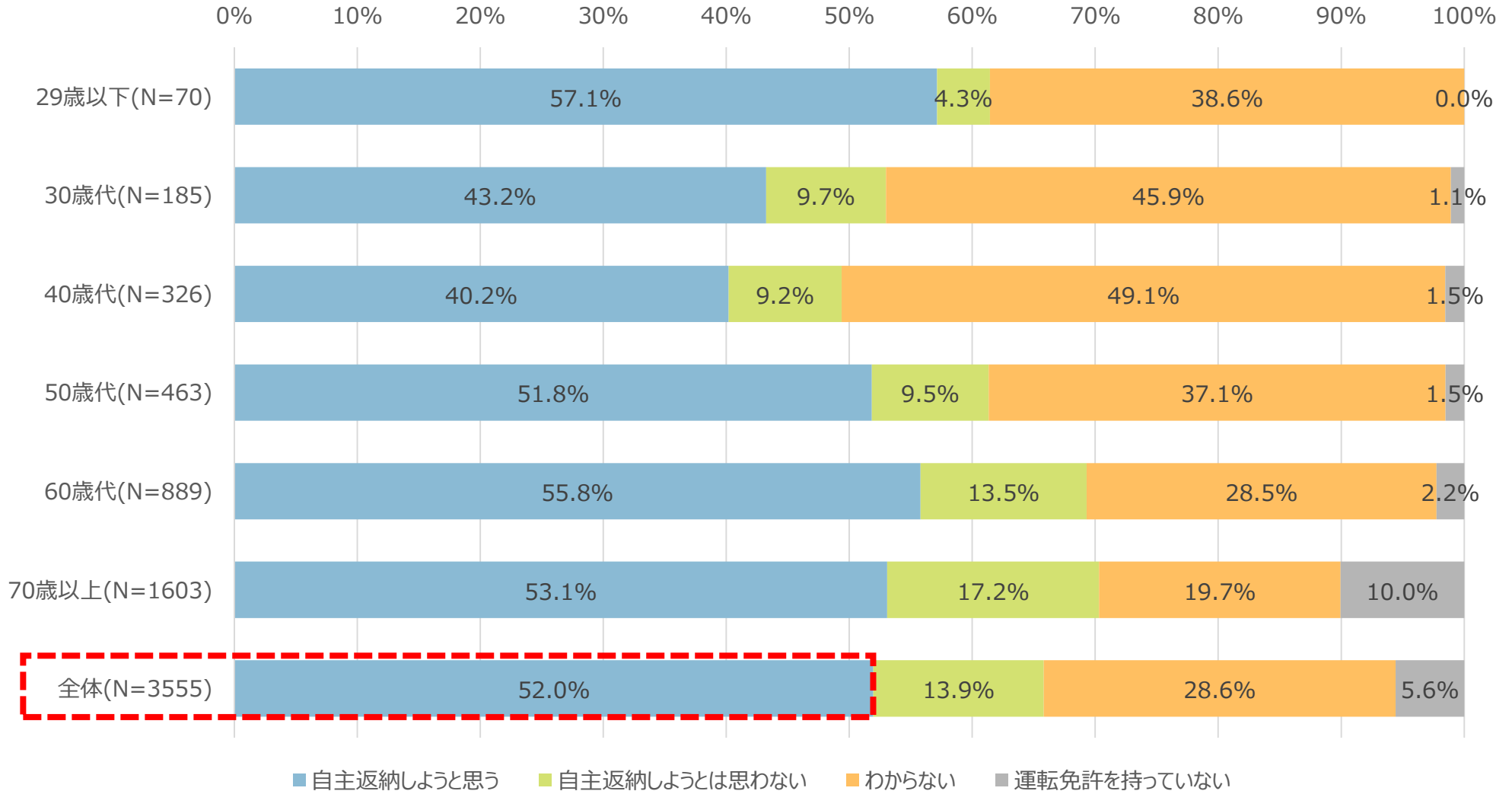
【運転頻度】



2. 市民アンケート調査（調査結果①：回答者の属性）

○車の運転が困難となった場合、回答者の半数以上は免許を自主返納すつもりであると回答している。

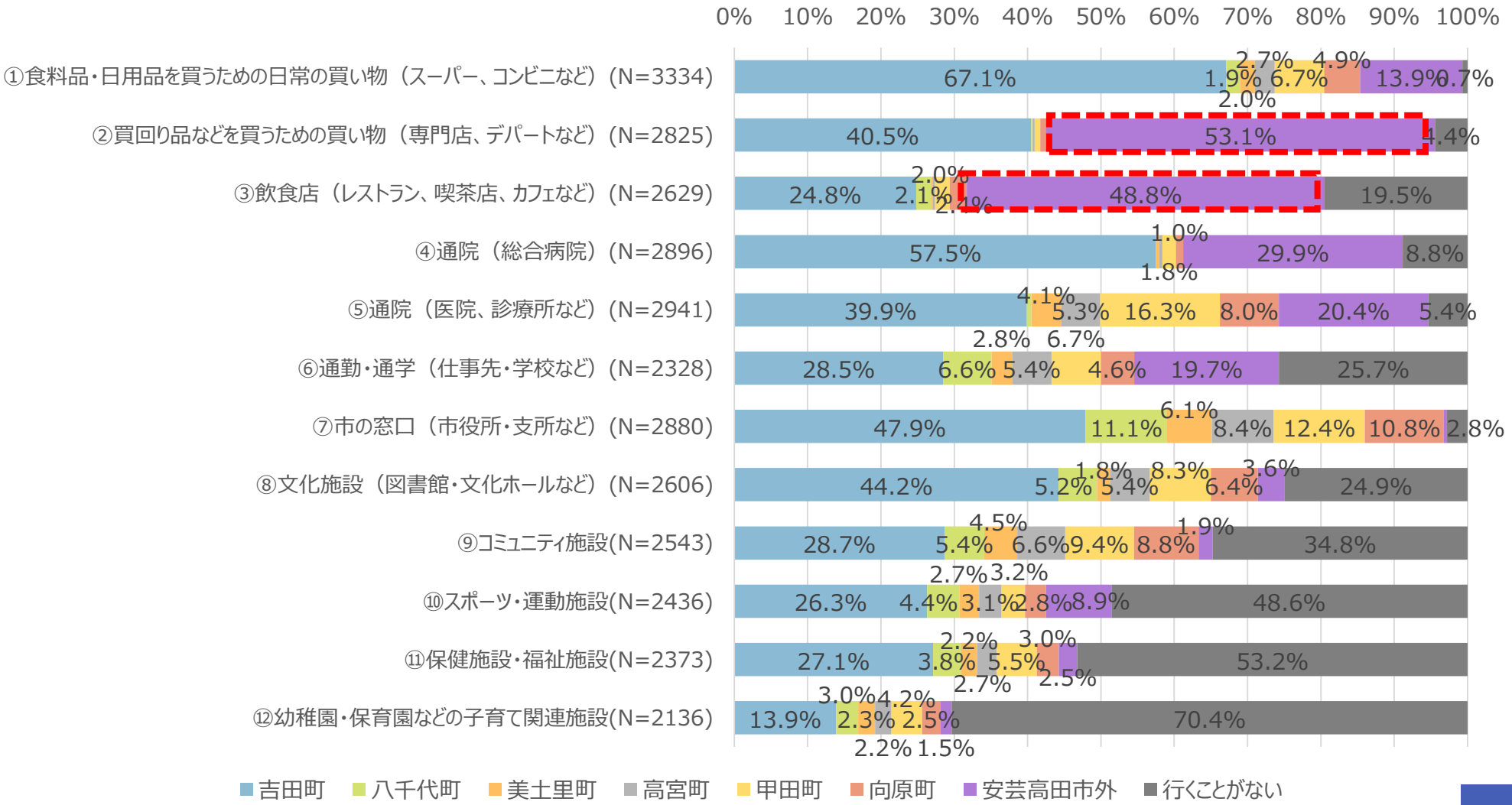
【免許返納意思（車の運転が困難となった場合）】



2. 市民アンケート調査（調査結果②：日常生活について）

○日常的な行動は吉田町を主に市内で完結している割合が高いが、買回り品の購入や飲食店の利用時などは市外まで出かける人の割合が高い。

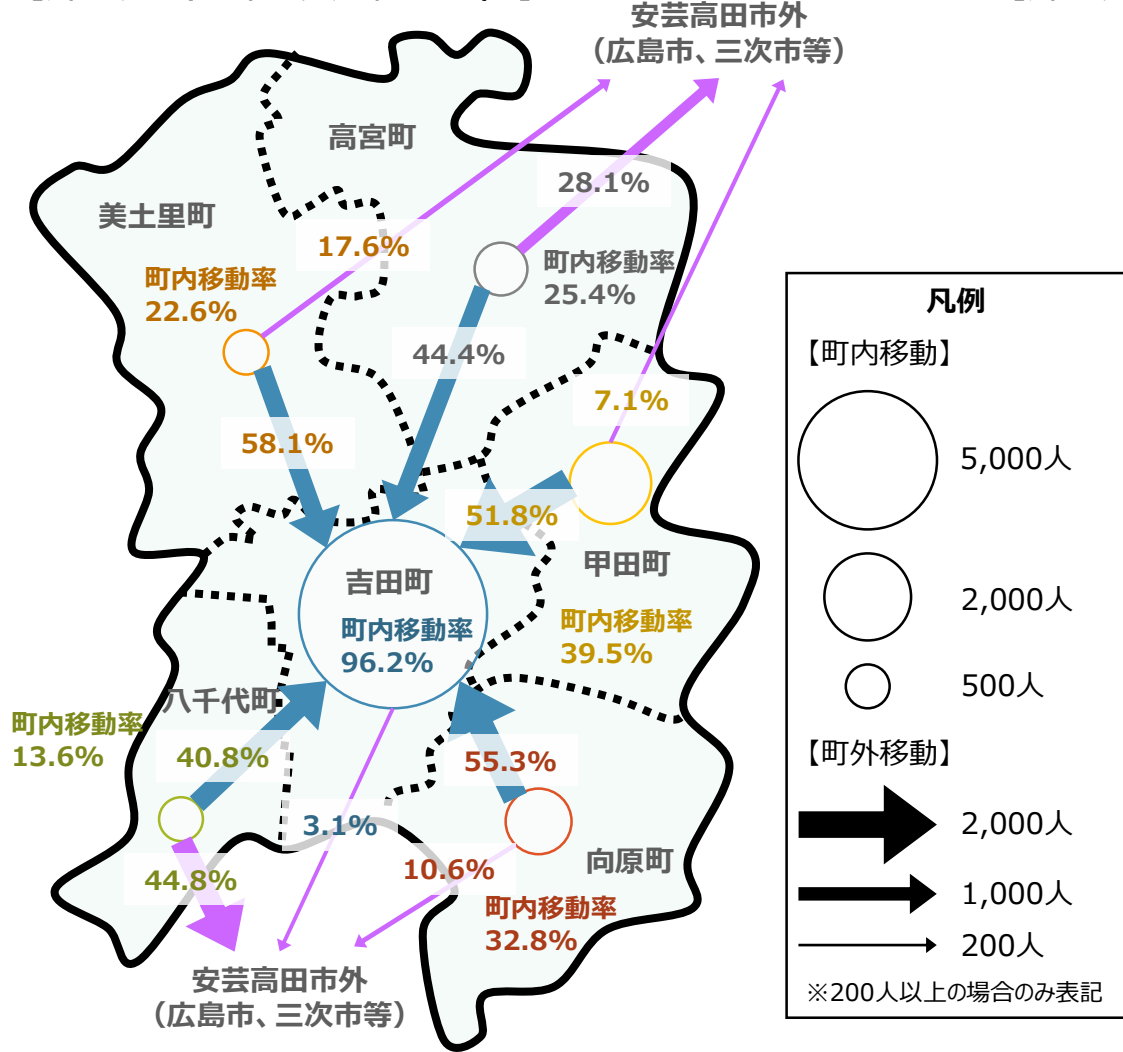
【外出先（市全体）】



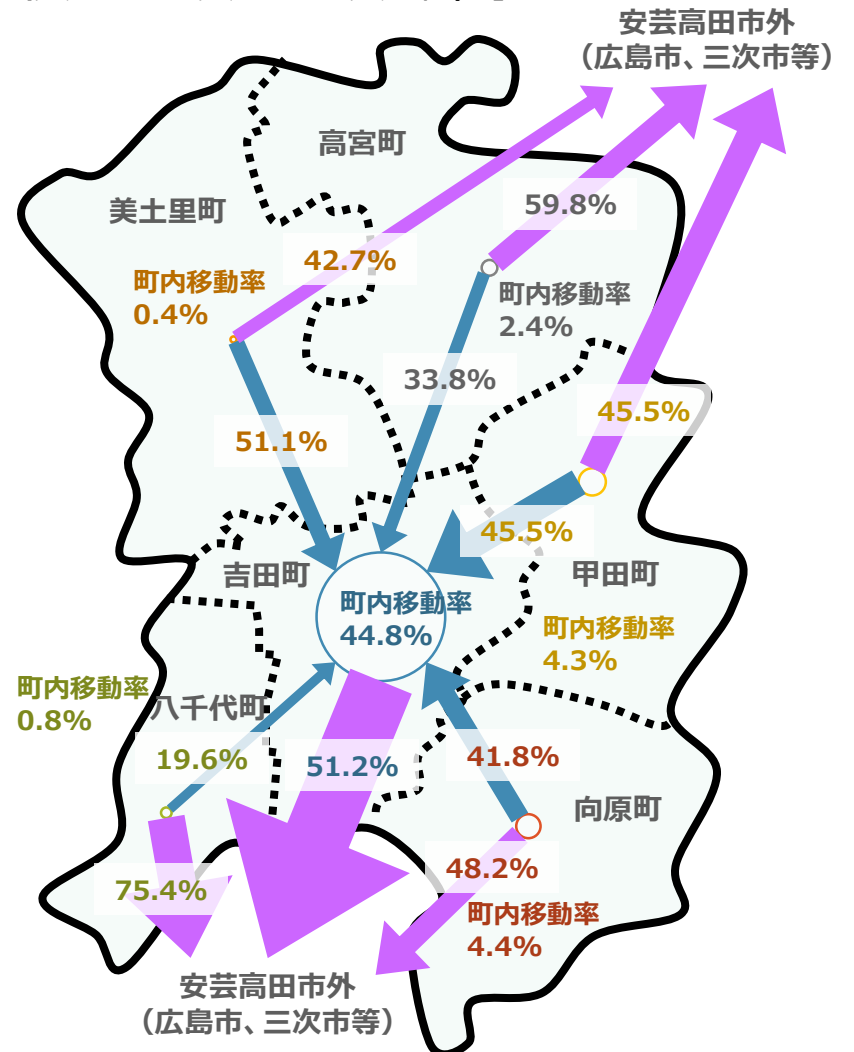
2. 市民アンケート調査（調査結果②：日常生活について）

- 目的別にODを整理すると、日常の買い物では吉田町のほか、各町内を目的地とする人も一定数見られる。
- 一方、買回りの買い物では、特に吉田町や甲田町を中心に、市外を目的地とする人が増えている。

【外出先（日常の買い物目的）】



【外出先（買回り品を買うための買い物）】

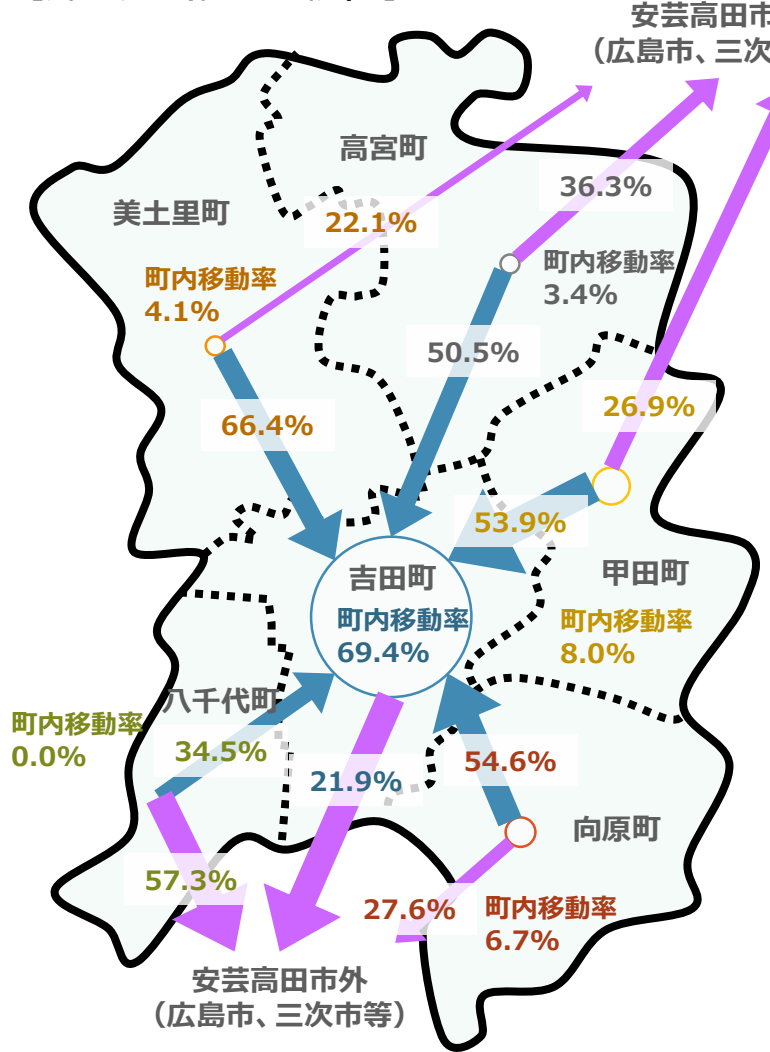


※人数は、アンケート調査の選択肢別の回答率（未回答を除く）を旧6町別に集計し、2020年時点の人口（国勢調査）で拡大処理を行い算出している。
 ※移動率の分母には、「行くことがない」との回答を含む。

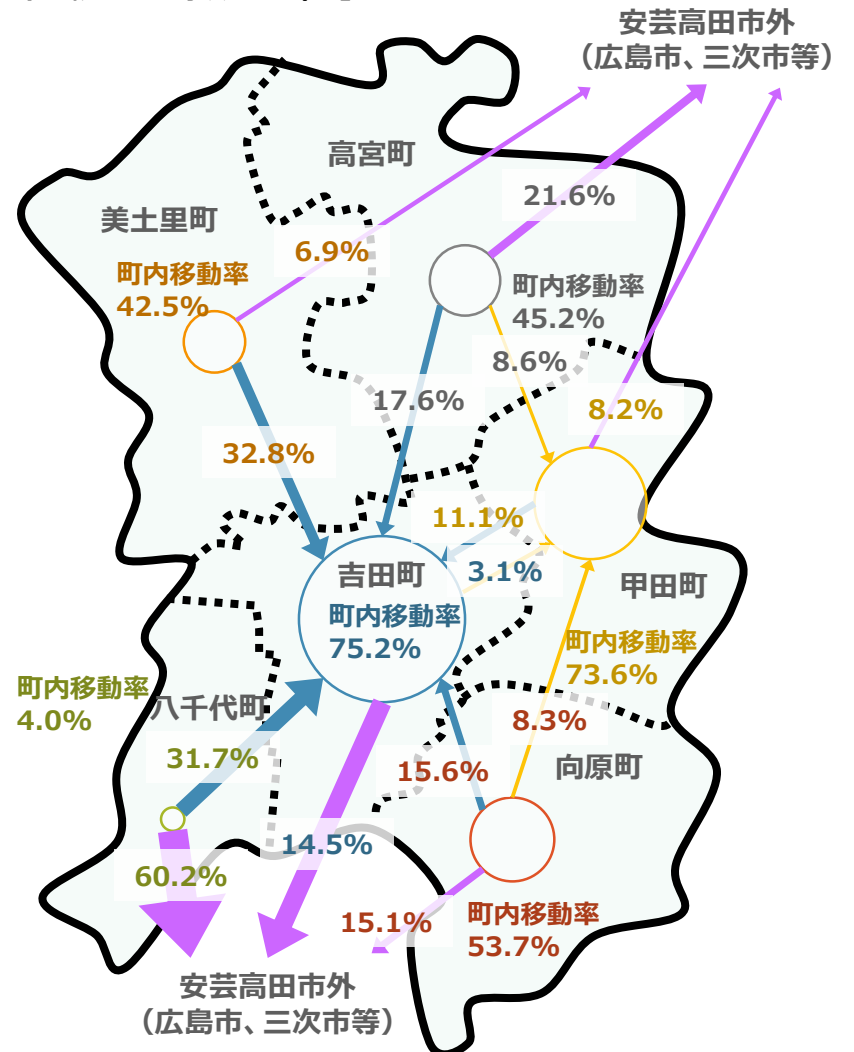
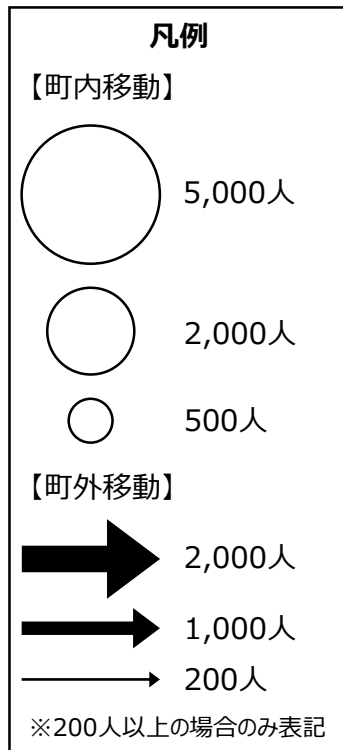
2. 市民アンケート調査（調査結果②：日常生活について）

○通院目的での移動について、総合病院は吉田町もしくは市外の施設を利用する傾向にある一方、日常的な医院・診療所は、居住する町内の施設を利用する人が多く、甲田町まで移動する人も一定数見られる。

【外出先（総合病院）】



【外出先（医院、診療所など）】



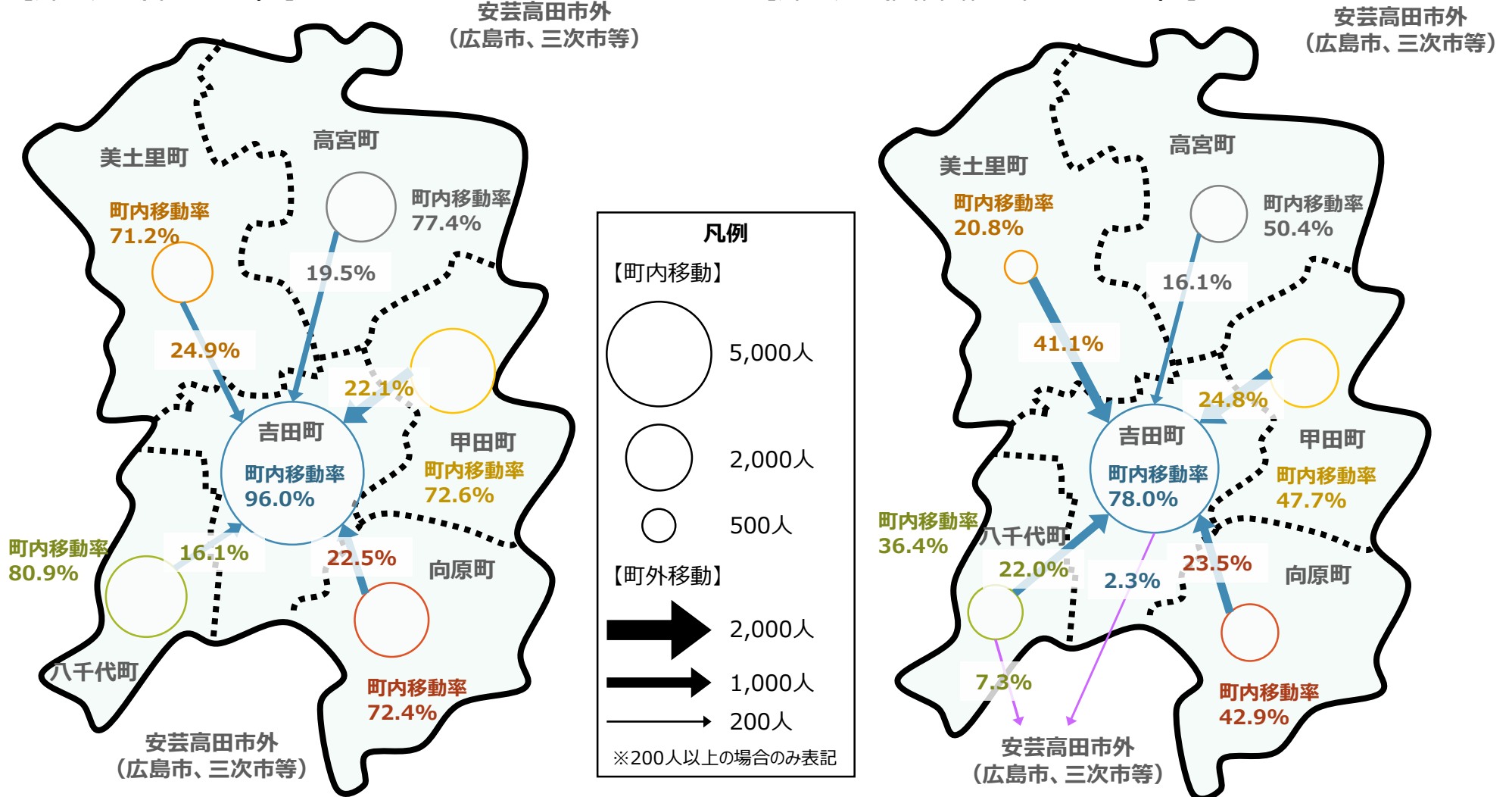
※人数は、アンケート調査の選択肢別の回答率（未回答を除く）を旧6町別に集計し、2020年時点の人口（国勢調査）で拡大処理を行い算出している。
 ※移動率の分母には、「行くことがない」との回答を含む。

2. 市民アンケート調査（調査結果②：日常生活について）

○市の窓口については、居住する町内の市役所または支所を利用する人が多い一方、同様に各町に整備されている図書館・文化ホールなどについては、各町内の利用者数が比較的少なく、吉田町の施設を利用する人も見られる。

【外出先（市の窓口）】

【外出先（図書館・文化ホールなど）】

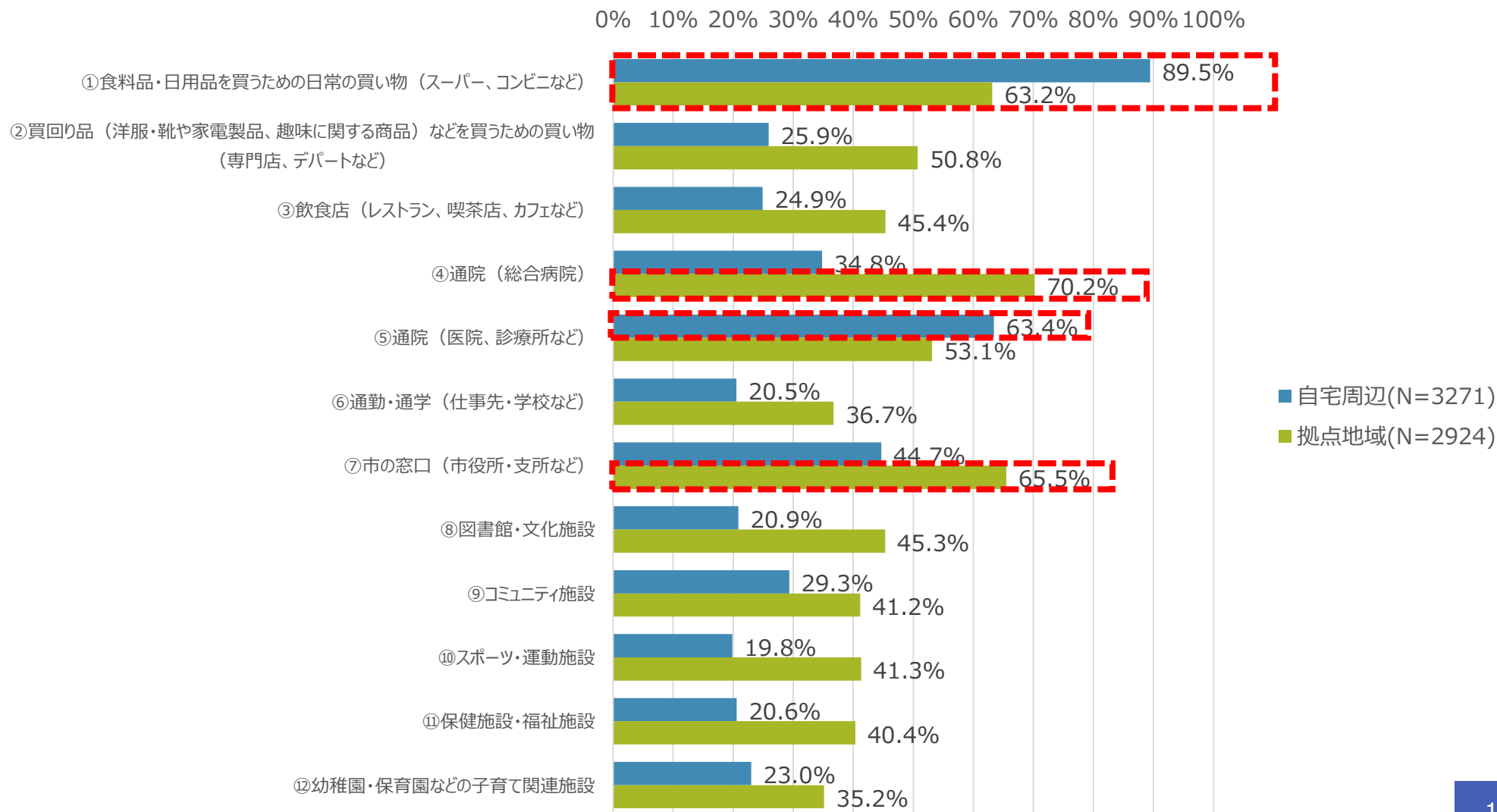


※人数は、アンケート調査の選択肢別の回答率（未回答を除く）を旧6町別に集計し、2020年時点の人口（国勢調査）で拡大処理を行い算出している。
 ※移動率の分母には、「行くことがない」との回答を含む。

2. 市民アンケート調査（調査結果②：日常生活について）

- 自宅周辺に欠かせない施設としては、スーパー・コンビニや日常的な通院施設を挙げる人が多い。
- 拠点地域に欠かせない施設としては、スーパー・コンビニのほか、総合病院や市の窓口などを挙げる人が多い。

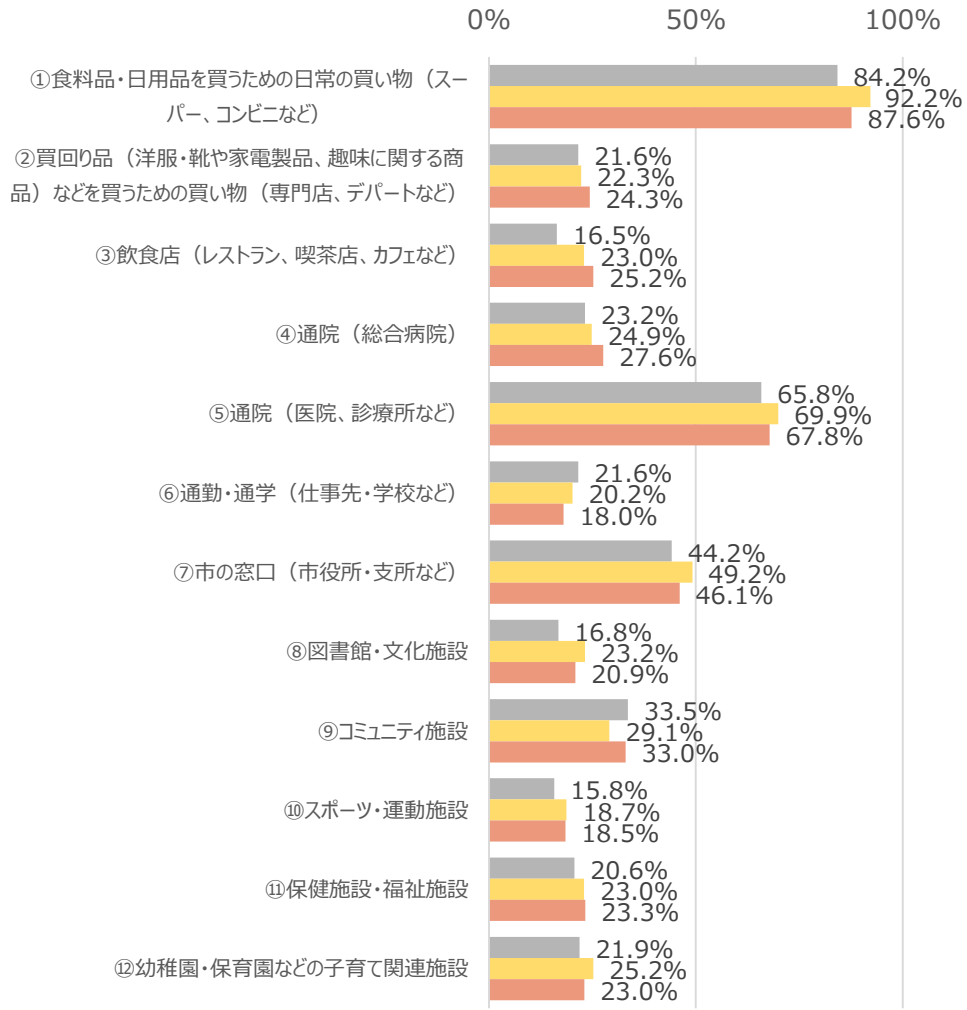
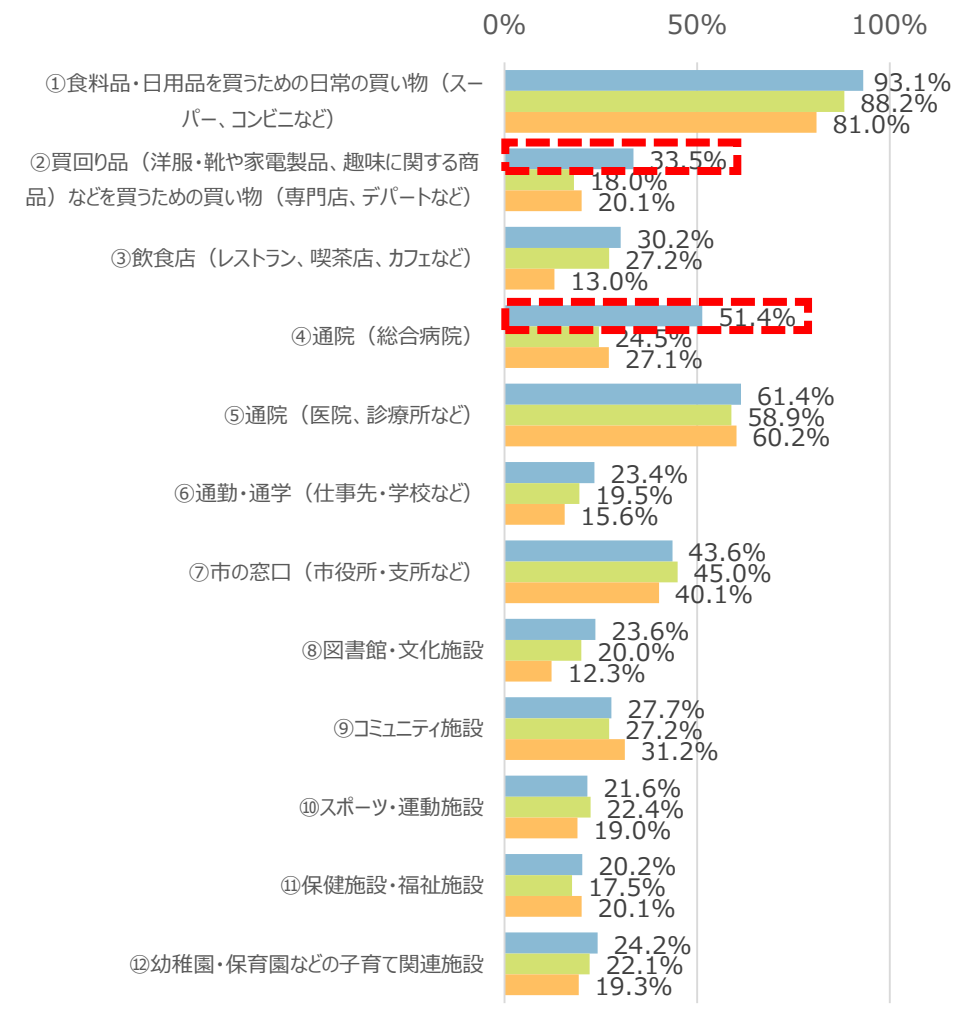
【自宅周辺・拠点地域に欠かせない施設】



2. 市民アンケート調査（調査結果②：日常生活について）

○自宅周辺に欠かせない施設を居住地別に整理すると、吉田町では他町に比べ、買回り品の買い物（専門店、デパートなど）や総合病院といった、現状では市外への依存度が高い施設を求める割合が高い。

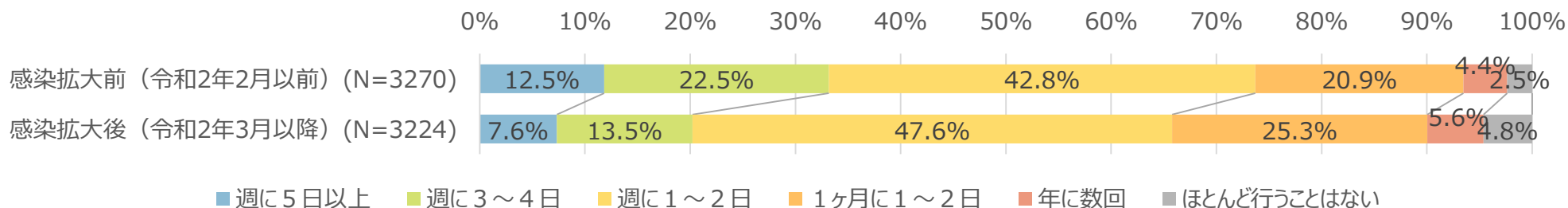
【自宅周辺に欠かせない施設（居住地別）】



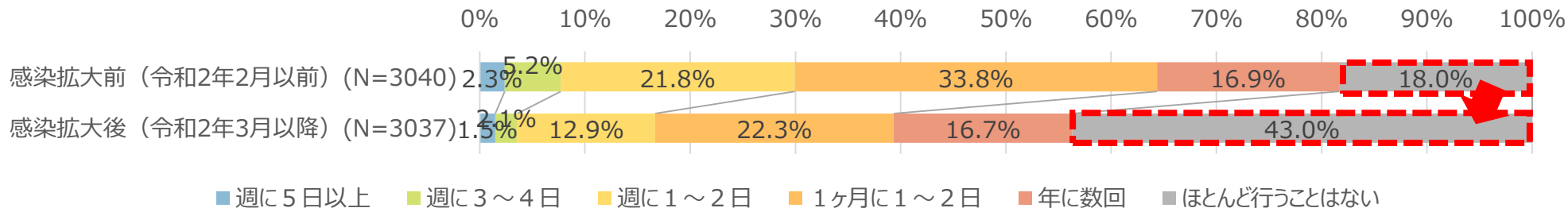
2. 市民アンケート調査（調査結果②：日常生活について）

○コロナ禍による外出行動への影響として、特に趣味・娯楽目的や、地域のイベント（自治会の会合やお祭りなど）での外出頻度が低下しており、「ほとんど行くことはない」と回答した人の割合が2倍以上となっている。

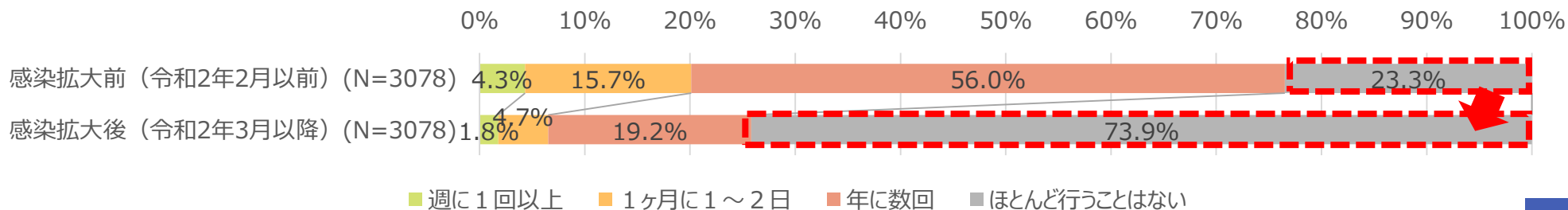
【通院・買い物等での外出頻度の変化】



【趣味・娯楽目的での外出頻度の変化】



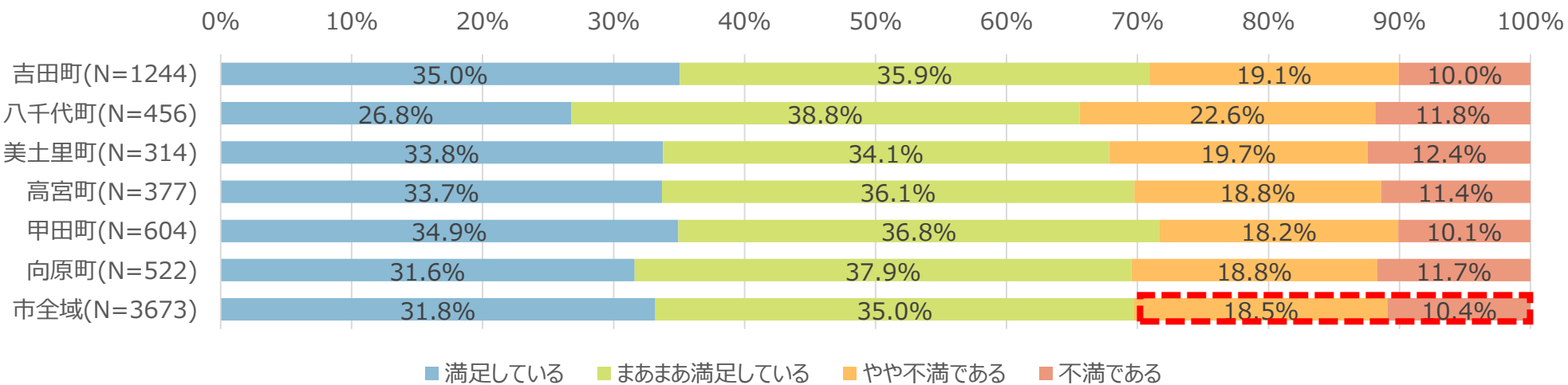
【地域のイベント（自治会の会合やお祭りなど）での外出頻度の変化】



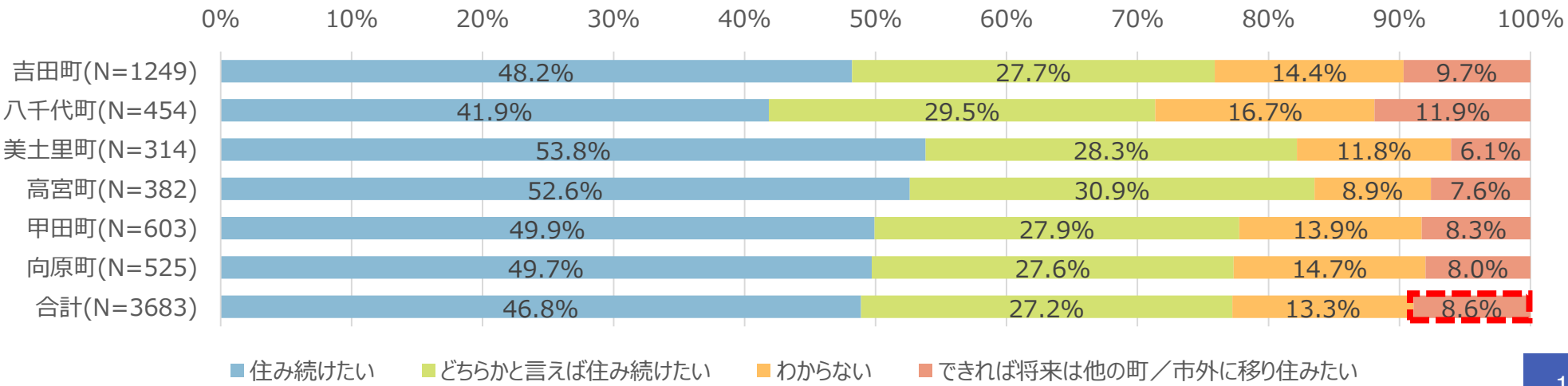
2. 市民アンケート調査（調査結果③：お住まいについて）

○市全体で約3割の住民が居住環境に「不満である」または「やや不満である」と回答している。
 ○また、市全体で約1割の住民が「できれば将来は他の町／市外に移り住みたい」と回答している。

【居住環境への満足度】



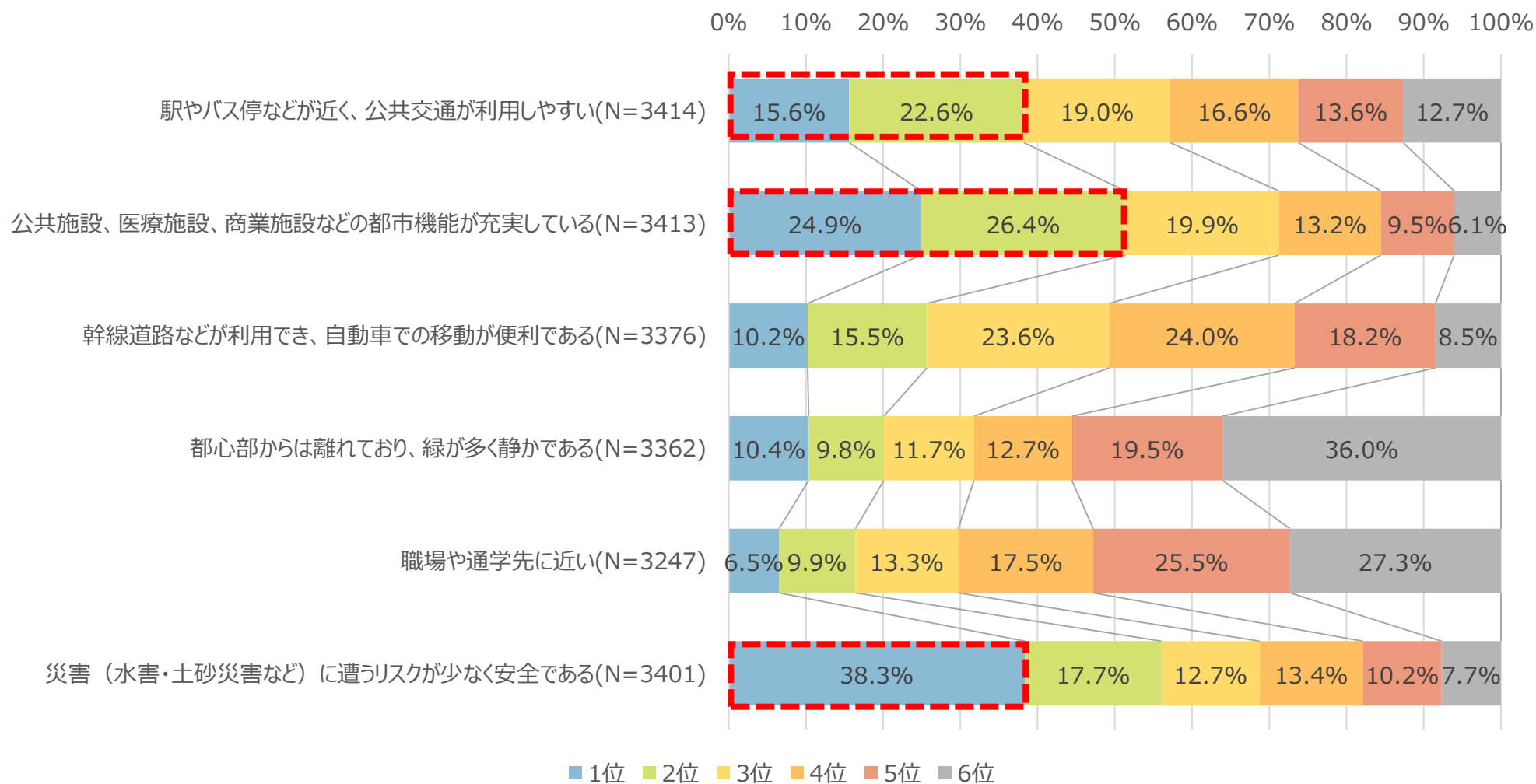
【将来的に住み続けたいかどうか】



2. 市民アンケート調査（調査結果③：お住まいについて）

○居住環境に求めることとして、回答者の約4割が災害リスクの少なさを1位に挙げており、次いで都市機能の充実や公共交通での利便性を重視する人が多い。

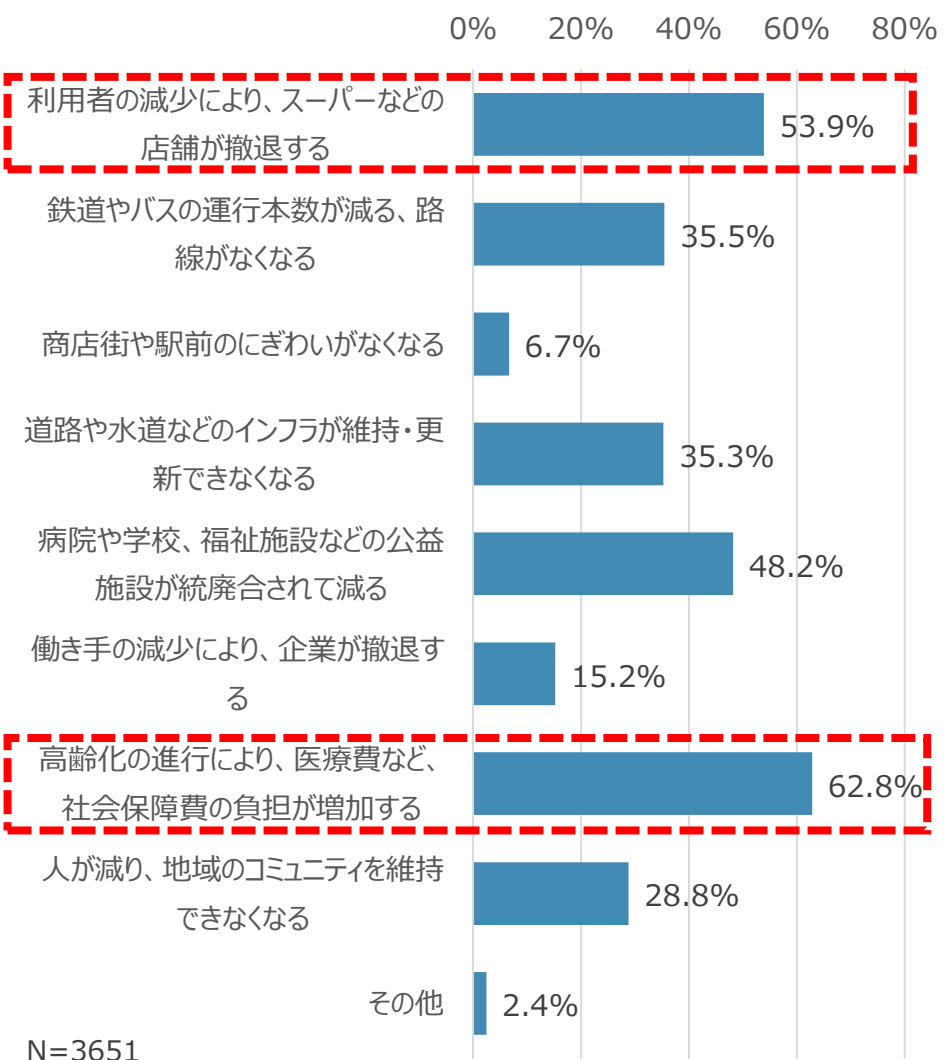
【望ましいと考える居住地の条件】



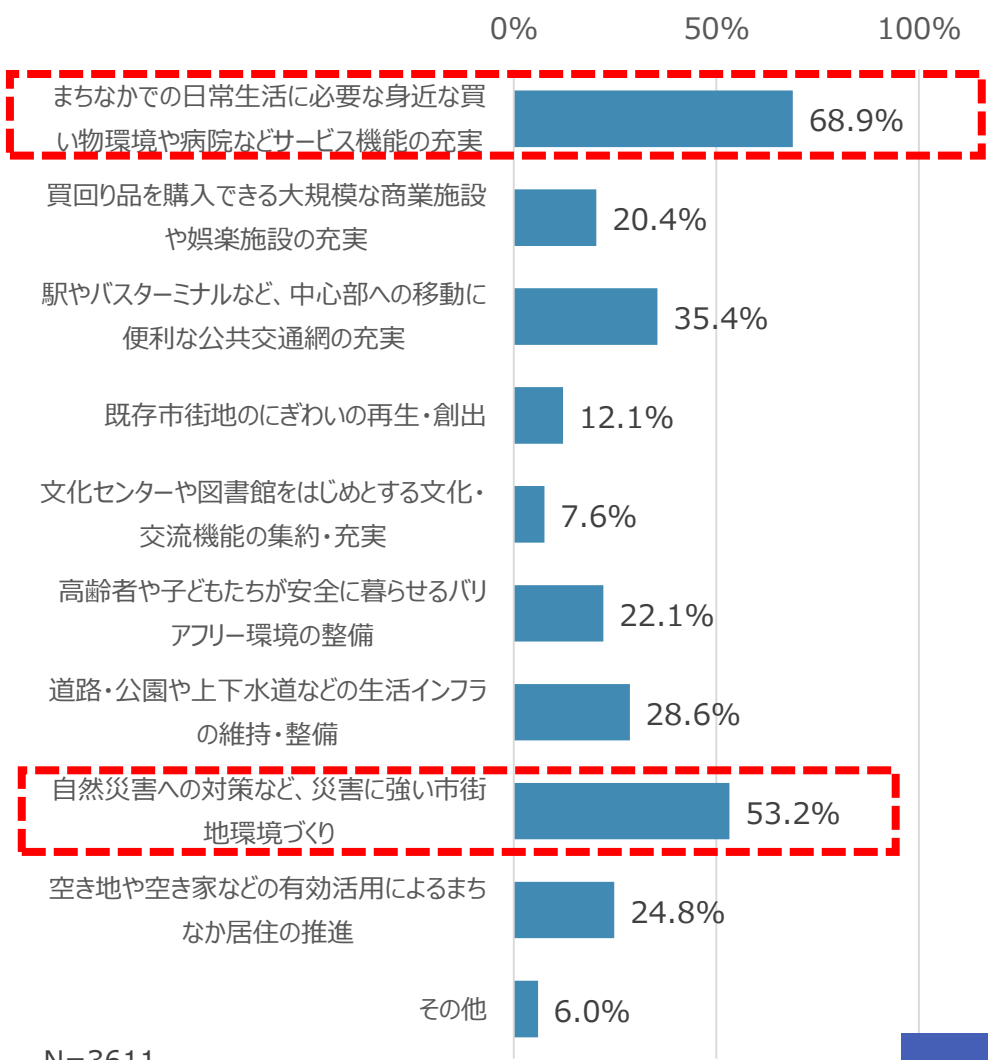
2. 市民アンケート調査（調査結果④：これからのまちづくりについて）

- 人口減少・少子高齢化による影響として、5割以上が社会保障費の負担増や店舗の撤退を懸念している。
- コンパクトなまちづくりを進めるにあたり、生活サービス機能の充実や災害対策を重視していくべきと考える人が多い。

【影響が生じると困ること】



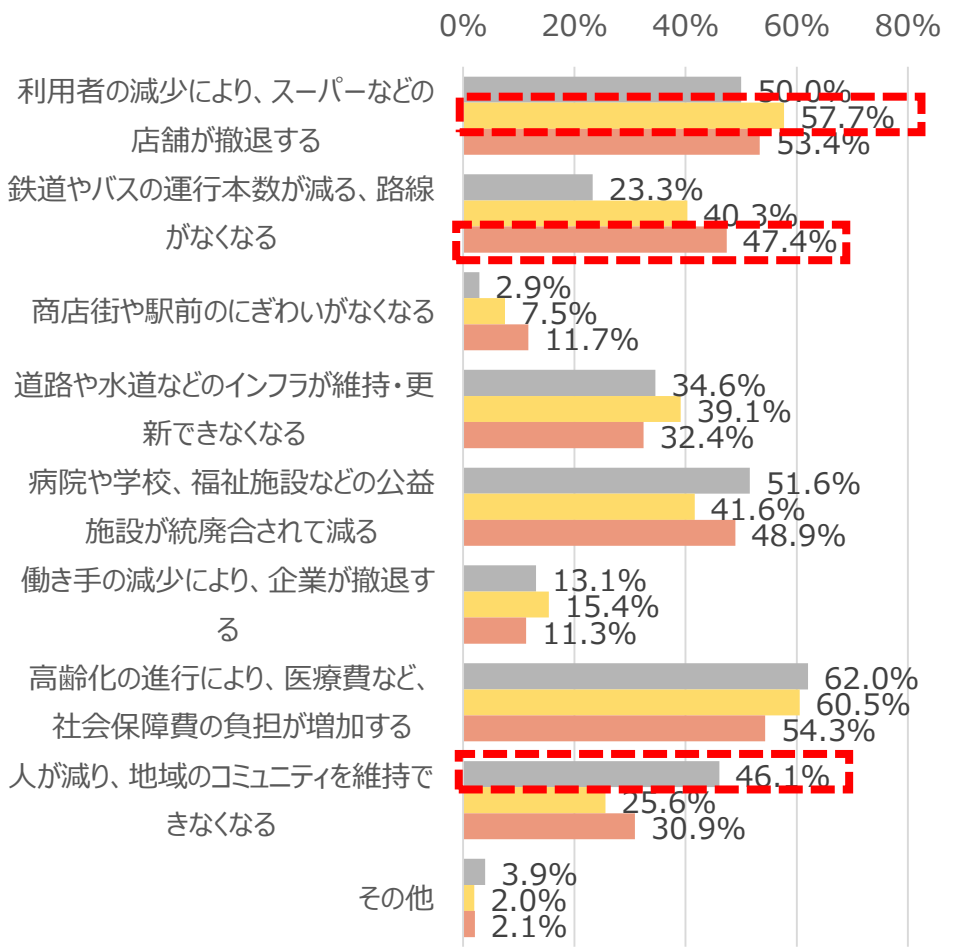
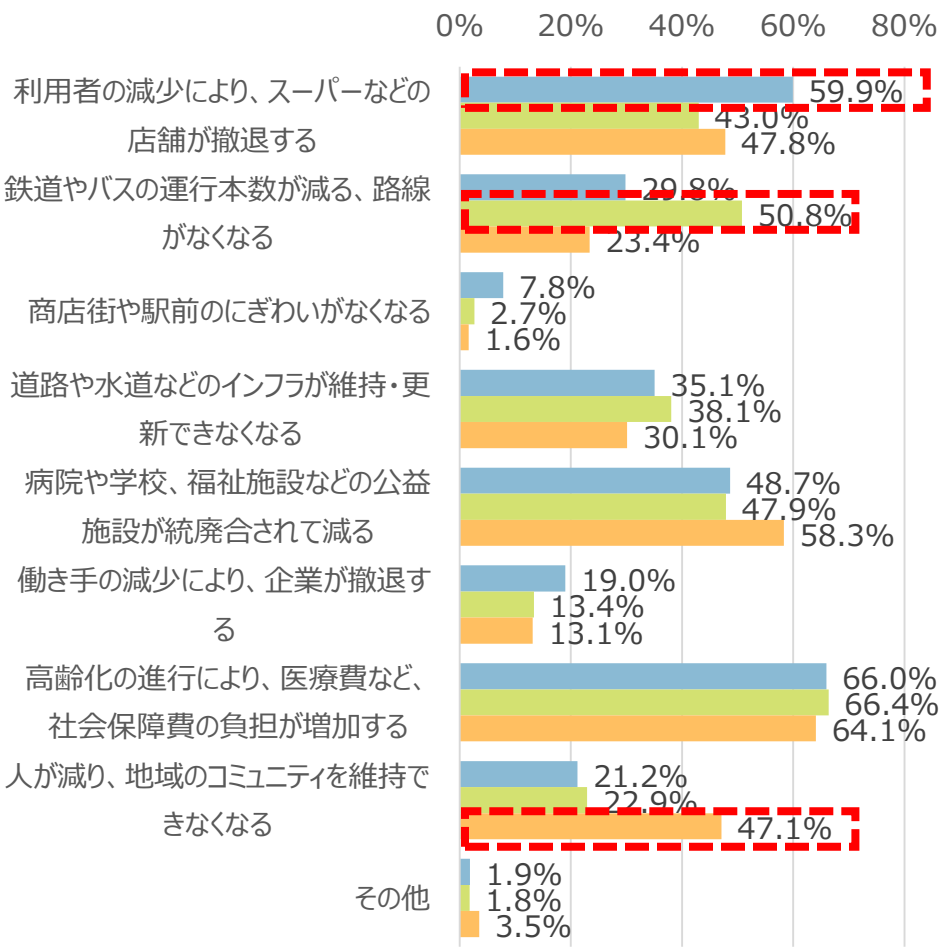
【コンパクトなまちづくりを進めるにあたり重視していくべきこと】



2. 市民アンケート調査（調査結果④：これからのまちづくりについて）

○人口減少・少子高齢化により影響が生じると困ることとして、特に吉田町や甲田町ではスーパーの撤退を、八千代町や向原町では公共交通の利便性低下を、美土里町や高宮町では地域コミュニティの維持を懸念する割合が、それぞれ他の町より高い。

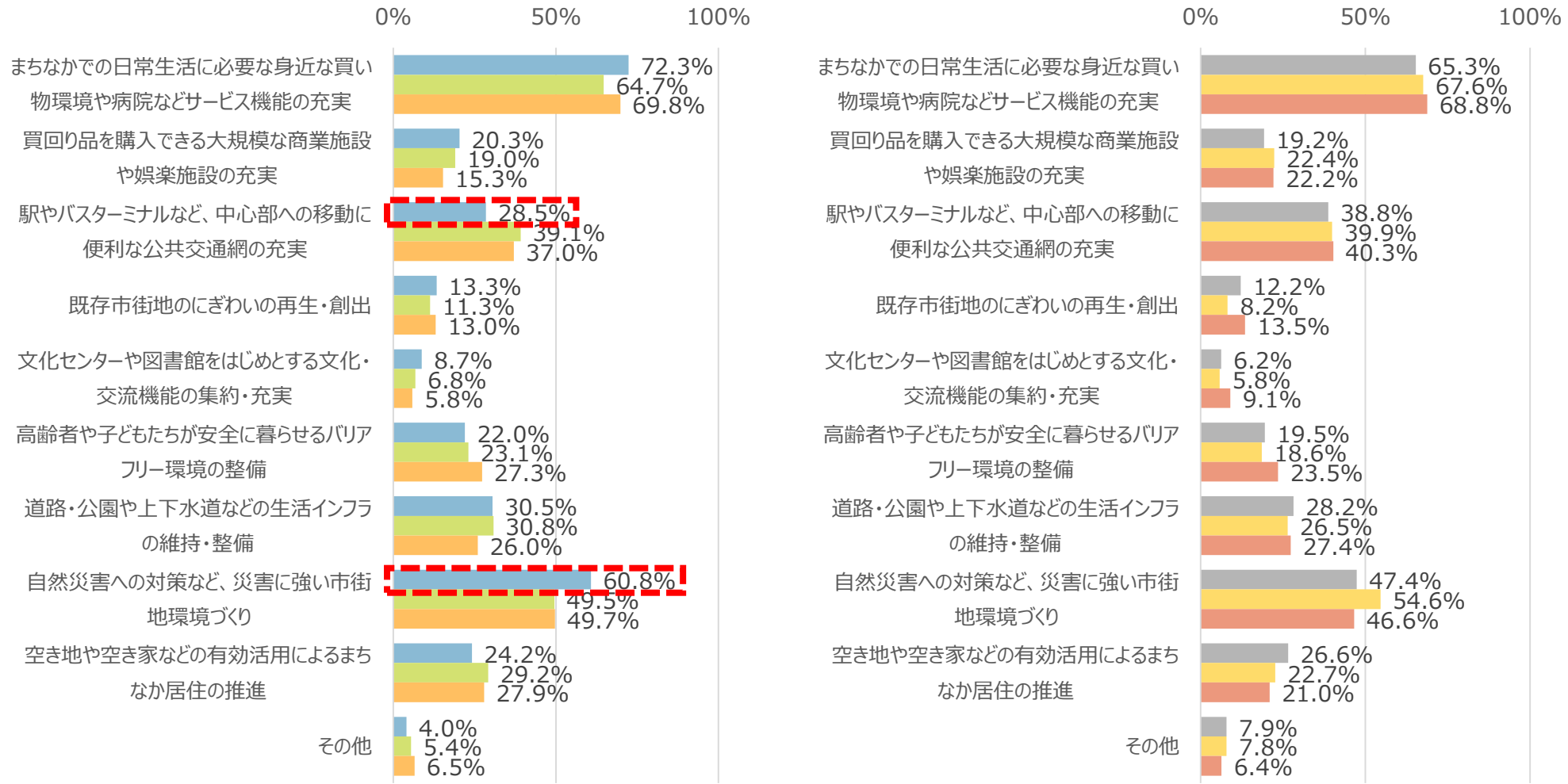
【影響が生じると困ること（居住地別）】



2. 市民アンケート調査（調査結果④：これからのまちづくりについて）

○コンパクトなまちづくりを進めるにあたり重視していくべきことについては、町別に顕著な差は見られないが、吉田町については、災害に強い市街地環境づくりを求める意見が多く、公共交通網の充実を求める意見が少ない。

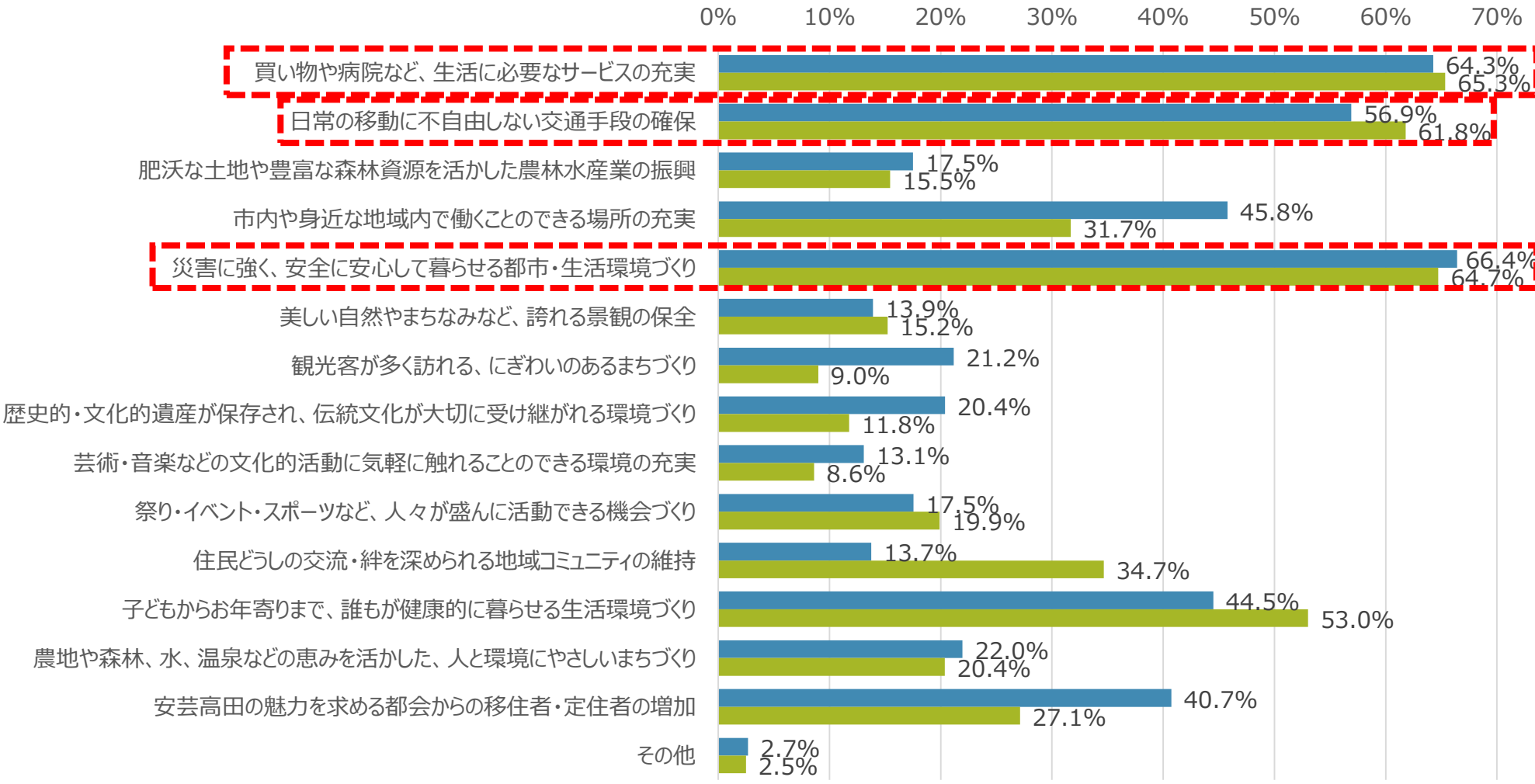
【コンパクトなまちづくりを進めるにあたり重視していくべきこと（居住地別）】



2. 市民アンケート調査（調査結果④：これからのまちづくりについて）

○今後のあるべきまちづくりの方針として、生活に必要なサービスの充実や、災害に強く健康的に暮らせる生活環境づくり、交通手段の確保等を重視する人が多い。

【あるべきまちづくりの方針】

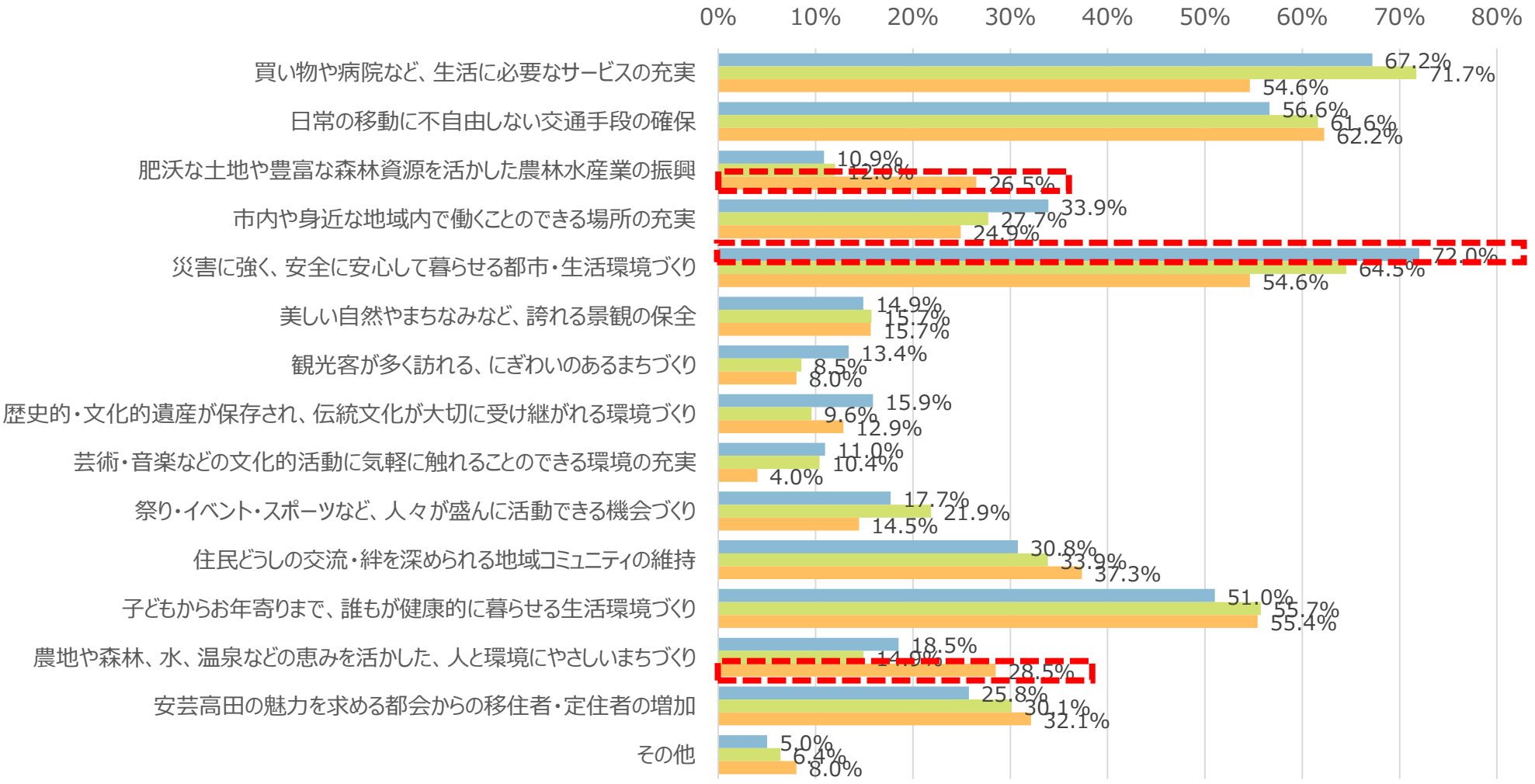


■ 市全体(N=3056) ■ 居住地(N=2957)

2. 市民アンケート調査（調査結果④：これからのまちづくりについて）

○今後の居住地周辺でのあるべきまちづくりの方針に対する意向を町別に整理すると、吉田町では災害対策を、美土里町では農林水産業の振興や環境への配慮を重視する割合が、他の町に比べて高い。

【あるべきまちづくりの方針（居住地別：自宅周辺について）①】



■ 吉田町(N=994) ■ 八千代町(N=375) ■ 美土里町(N=249)

2. 市民アンケート調査（調査結果④：これからのまちづくりについて）

○また、今後の居住地周辺でのあるべきまちづくりの方針に対する意向として、高宮町についても、農林水産業の振興や環境への配慮を重視する割合が、他の町に比べて高い。

【あるべきまちづくりの方針（居住地別：自宅周辺について）②】

